

会計学分野

【学士力の考察】（修正が無いため省略）

【到達目標 1】（修正が無いため省略）

【到達目標 2】（解説の下線部分を修正）

2. 組織活動の財やサービスを計数的に測定し、伝達できる。

ここでは、財務会計と管理会計の役割について認識させるとともに、財務会計と管理会計の情報が会計情報システムを介して一元管理されていることが説明できることを目指す。

【到達目標 3】（修正が無いため省略）

【到達目標 4】（解説、コア・カリキュラムのイメージ、到達度④と⑤の下線部分を修正）

4. 会計情報の有用性を理解し、問題解決や意思決定に応用できる。

ここでは、組織の経済活動の実態を会計情報として体系的に把握させ、問題発見や問題解決のための意思決定ができるようにしなければならない。そのためには、各種の会計領域はもとより、法学、経済学、経営学、環境学、社会学、心理学、医療経済学などの隣接領域に関する知識が不可欠である。その上で、会計担当者として公正な立場で判断及び行動できることを目指す。

【コア・カリキュラムのイメージ】

<専門レベル>

予測情報、意思決定会計、業績管理会計、戦略支援、管理会計、損益分岐点分析、財務会計、投資意思決定、監査論、国際会計、税務会計、公的組織の会計、環境会計、会計倫理など

【到達度】

④ 企業会計を踏まえて公的組織など、各種領域の会計の概要を説明できる。

⑤ 会計基準が企業経営に与える影響について説明できる。